

RCJ野営大会2021

基本実施要項

- 主催：公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
- 主管：プログラム委員会、全国ローバースカウト会議運営委員会
- 運営：RCJ Route運営委員会

■開催にあたって：

2012年に全国ローバースカウト会議が発足したことで、全国のローバースカウトの意見を取りまとめ、提言することが可能となった。2016年に全国規模のローバースカウトの野営大会として11年ぶりにRCJクエスト2016 in高萩が開催され、2018年にその大会をさらに拡充させる形でRCJ Re:Questが開催された。RCJ Re:Questでは、教育規程にあるようなローバースカウトの活動目標を達成する一助となるような機会となるために、開催地である茨城県の一般小学生を迎えた自然体験プログラムを行なった。そこで本大会では、RCJ Re:Questのようなプログラムに加え、SDGs等に関わる実践的な教育プログラムを取り入れることで、スカウトのニーズ、地域社会のニーズ、そして国際社会のニーズを参加者が主体的に満たすような野営大会を目指す。

■大会の目的：

1. ローバースカウト活動の目標を達成し、より良き社会人としての意志を高める
2. 野営大会を持続的な事業とすることにより、野営大会の価値の向上とローバースカウト部門の発展に寄与する

■大会の目標：

1. 全国のRCJ構成員と野営とプログラムを共にすることにより、友情を築く
2. 数々の交流を通して活動の幅を広げ、自身の視野を広げるきっかけにする
3. 地域社会から国際社会まで、幅広い社会において貢献できる市民として必要な資質を養う
4. 参加者一人一人が主体性を持って本大会を作り上げていく

■大会名称：**RCJ Route**（略称：RCJR）

理由：「道筋」という意味を持つ”Route”は、目的や目標を達成するための道筋、より良き社会人への道筋、より良きローバリングへの道筋、野営大会の持続的発展のための道筋など、本大会で見出すべきあらゆる「方向性」を示す。この方向性を参加者に提供すること、あるいは参加者自身に考えてもらうこと、感じてもらいたいという思いを込めた。

■大会テーマ：**Chance to Inspire**

理由：鼓舞させる、発奮させる、元気づける、動機付ける、刺激を与える、引き起こすなど、数多くの意味を持つ“Inspire”は、本大会の目的と目標を達成するにあたり、必要不可欠な強いメッセージ性のある言

葉であるとともに、参加者一人ひとりが大会テーマの意味に対して複数の捉え方を持つことで、それぞれ異なる環境に身を置く参加者が、大会から得られるものを考えることができる。そして、本大会はその絶好の機会であることを明確に示すために、”Chance”と表現した。

■ **ロゴマーク**：大会テーマ決定後、テーマにふさわしいロゴマークを公募する。

■ **会場**：高萩スカウトフィールド(茨城県高萩市)

2012年に大和ハウス工業株式会社より茨城県中戸川地域に82万坪の広大な森林の寄贈を受け、茨城県や高萩市の支援・協力を得て開発を行っている。標高は約350～515mで、主な常設施設として、管理棟、野外講堂、水洗トイレ、温水シャワー、水汲み場、駐車場がある。最寄りのJR高萩駅から会場まで約13kmの距離があり自家用車で約25分、常磐自動車道高萩ICからは約11kmの距離があり、自家用車で約20分の場所にある。RCJクエスト2016 in 高萩およびRCJ Re:Questの開催地である。

■ **大会期間**：2021年（令和3年）9月17日（金）～20日（月・祝） 3泊4日

■ **大会日程案**：

	9月17日（金）		9月18日（土）		9月19日（日）		9月20日（月・祝）		
	プログラム	場所	プログラム	場所	プログラム	場所	プログラム	場所	
6:00			生活班で朝食		生活班で朝食		生活班で朝食		
7:00			全体朝礼(8:00～9:00)	アリーナ	生活班で朝礼・点検		生活班で朝礼・点検		
8:00							撤営	各サイト 場内利用場所	
9:00			半日プログラムⅠ 9:30～12:00	場内及び周辺	1日プログラム 9:30～16:00	場内および周辺	閉会式(11:00～12:00)	アリーナ	
10:00									
11:00	集合 貸切バスで移動	高萩駅	昼食・休憩	場内					貸切バスで高萩駅へ移動 (一部は花貴沢谷駐車場)
12:00									
13:00	受付開始		半日プログラムⅡ 13:30～16:00	場内及び周辺					
14:00	設営	アリーナ 各サイト							
15:00	配給	各サイト							
16:00	夕食		配給	本部前	配給	本部前			
17:00		本部前	夕食		夕食				
18:00	閉会式・オリエン テーション(18: 00～19:30)			アリーナ		アリーナ			
19:00	ウェルカムナイト 19:30～21:00	アリーナ	カルチャーナイト 19:00～21:00		ローバーナイト 19:00～21:00				
20:00									
21:00									
22:00	班長会議・安全担当者会議	スカウトホール	班長会議・安全担当者会議	スカウトホール	班長会議・安全担当者会議	スカウトホール			

■大会参加者：

参加人員 (総計200名)	参加資格
参加者	※2021（令和3）年度加盟登録が完了した者 ※大会実施時点で未成年の者は、参加にあたって保護者から参加の同意を得ること 大会実施時点で18歳以上25歳以下のローバースカウト及び同年代の指導者 青少年教育に関わる他団体の参加も検討する。 （年齢は同様に18歳以上25歳以下とする）
本部スタッフ	<運営委員> 大会実施のために具体的な内容の企画、計画を行い、それを基に当日の運営を担当する。 大会終了後は報告書を作成する。 <運営スタッフ> 野営大会運営委員会により任命されたローバースカウトで、当日の運営とその事前準備について、野営大会運営委員会の協力を行う。 選出方法は野営大会運営委員会が別に定める。 <インストラクター> 野営大会運営委員会により任命されたローバースカウト活動を経験した成人補助者で、事前準備について、専門性が必要なプログラムに助言を行う。 <大会支援者> 日本連盟コミッショナー、日本連盟プログラム委員会、アドバイザー、日本連盟医療チーム、茨城県連盟、茨城県、高萩市等を指す。野営大会運営委員会における協議への助言や、専門性が必要なプログラム、安全および救急について当日のサポートを行う。

■参加申し込み方法：

<ステップ1>

参加希望者は、2021年4月初旬から6月中旬までの間に、所定の参加申込フォームに必要事項を入力し、同書を所属団隊長、地区を経て所属県連盟に提出する。

県連盟は、申込書を取りまとめ、6月末までに日本連盟へ提出する。

日本連盟は、7月中旬までに、参加確定通知、プログラム希望調査、健康調査票を送付する。

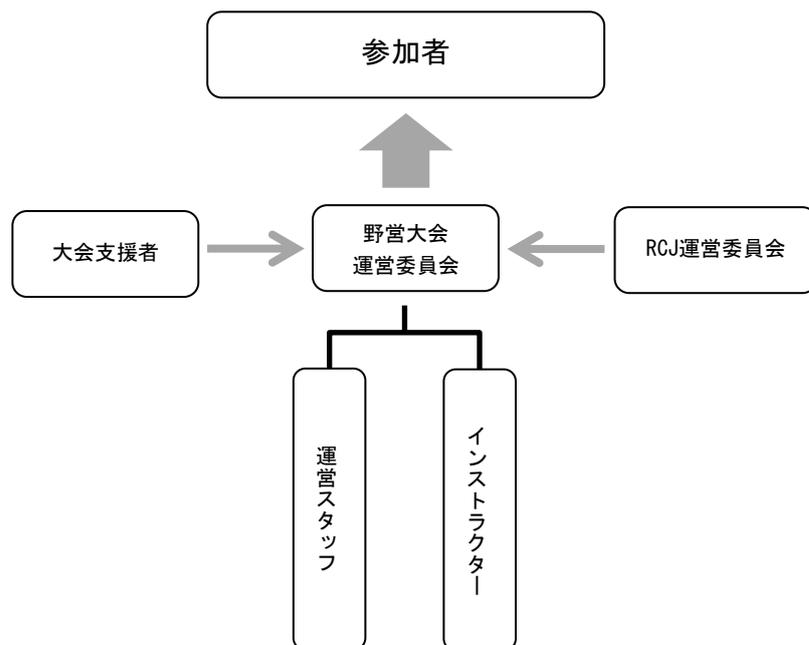
<ステップ2>

参加者は、7月下旬までに日本連盟に参加費を入金する。

日本連盟は、7月下旬を目処に各種資料を参加者に配信する。

日本連盟は、8月初旬までに、参加決定者を対象に大会説明会をオンラインで開催する。

■大会運営組織：



■大会運営委員会：

部署	所掌業務
運営委員長	運営委員会を代表し、各担当の業務を統括する。準備全般の状況を掌握し、リーダーシップを発揮して大会の目的・目標を達成するため、委員会の円滑な運営に責任を持つ。 RCJ運営委員会との連携を密にし、適宜協力体制を整える。 大会運営を支援する成人の支援を鑑み、必要な人材を得られるよう調整を図る。（組織内外） ポリシーを持ち、他の運営委員の信頼を得る。
副運営委員長	運営委員長とともに準備全般の状況を把握する。
総務部	参加者の申込管理（集散方法、駐車場管理など）および大会の総務全般について責任を持つ。（時間管理、会議、来賓接伴、安全・救護、セーフ・フロム・ハームなど） 参加者が快適な野営生活を送るための必要なサービスについて責任を持つ。（施設資材、配給、シャワー、ごみ処理など） 大会の準備から報告書作成までの記録全般について責任を持つ。
プログラム部	大会の目的、目標に沿ったプログラム方針を策定し、目標達成のための具体的なプログラムの立案とその準備および実施に責任を持つ。 （開会式、閉会式、一日プログラム、半日プログラム、夜間プログラム） プログラムの評価項目を策定し、客観的な評価報告に責任を持つ。
広報部	大会の概要や準備内容について様々な手法を用いて広報し、大会開催への理解と、より多くの参加者獲得について努力する。 大会当日の様子を記録し、様々な手法を用いて広報し、本大会以降の野営大会の魅力度向上に努力する。

■プログラムの基本方針：

本大会開催における大会プログラムに関する基本方針を以下に示す。

1. セレモニー

開会式や閉会式に加え、全体及び班単位での朝礼やスカウトounサービを実施する。

2. メインプログラム

参加スカウトは、18（土）に半日プログラム2つ、19日（日）に一日プログラム1つを選択してそれぞれ参加する。プログラムは大会の目的・目標に対応し、野外活動系・教育系・コミュニティ奉仕系・交流系の4つの軸で複数用意される。高度な野外活動を通じた自己研鑽や、SDGs等に関わる教育プログラム、地域を巻き込んだ奉仕を通じて目標の網羅的な達成を目指す。

3. ナイトプログラム

目標1・2・4の達成のために以下のプログラムを実施する。

- ・ウェルカムナイト
- ・カルチャーナイト
- ・ローバーナイト

上記のプログラムを通じて、参加者間の交流の場を作ると同時に参加者が主体的に大会に参画する機会を生み出す。

4. 管理責任

本大会プログラムを準備するにあたり、企画・計画・実施および安全対策における責任者はプログラム部長がこれを担い、正副委員長が監督する。

■広報の基本方針：

本大会開催における広報に関する基本方針を以下に示す。

1. 目的

野営大会の魅力を多くのRSとRS年代指導者に認識してもらい、参加者数と満足度の最大化を目指す。

2. 広報媒体

本大会の公式広報媒体（プラットフォーム）として、RCJ運営委員会公式ホームページ(<https://rcjweb.jp/>)、Facebookを利用する。また、参加対象者との直接交流にLINEを、参加希望者の大会に対する期待感向上のためにInstagram、YouTubeを活用する。

3. 管理責任

各SNS開設の責任者は当委員会広報部長がこれを担い、正副委員長が監督する。

4. 基本姿勢

各SNS運用にあたっては、以下の点を基本姿勢として運用する。

(1) 大会開催の周知

参加対象者のみならず、ローバースカウトを支援する指導者に対しても大会開催の主旨を周知することで、ローバースカウト活動への理解促進を図る。

(2) 参加希望者への情報提供

参加希望者に対し、必要な情報を定期的に提供することで、大会を楽しむための十分な準備を促す。

5. 留意事項

SNSの運用にあたって、投稿内容に関係のないコメントや、下記事項に該当すると野営大会運営委員会が判断したコメントは、コメント投稿者に断りなく、全部または一部を非表示、削除、拒否できるものとする。

- ・ 公序良俗に反するもの
- ・ 特定の個人を誹謗中傷し、または名誉もしくは信用を傷つけるもの
- ・ 本人の承諾なく個人情報を特定・開示・漏えいする等プライバシーを害するもの
- ・ 著作権、商標権、肖像権など当省または第三者の知的所有権を侵害するもの
- ・ 営利を目的としたもの
- ・ 政治、宗教活動を目的としたもの
- ・ 記載された内容が虚偽または著しく事実と異なるもの
- ・ 人種・思想・信条等の差別または差別を助長させるもの
- ・ それぞれの利用規約に反するもの
- ・ 第三者が不快に感じて削除の依頼があり、かつ管理者も削除が適当であると判断したもの
- ・ その他、当運営委員会が不適切と判断した情報及びこれらの内容を含むリンク等

■参加費：30,000円を予定

※会場利用費、プログラム費、食費、運営費、資料費、事務局経費等を含む。

※参加日程が短い場合も減額はしない。

※野営大会運営委員会および運営スタッフも参加費を支払う。

※参加費の納入方法は参加決定通知時に案内する。

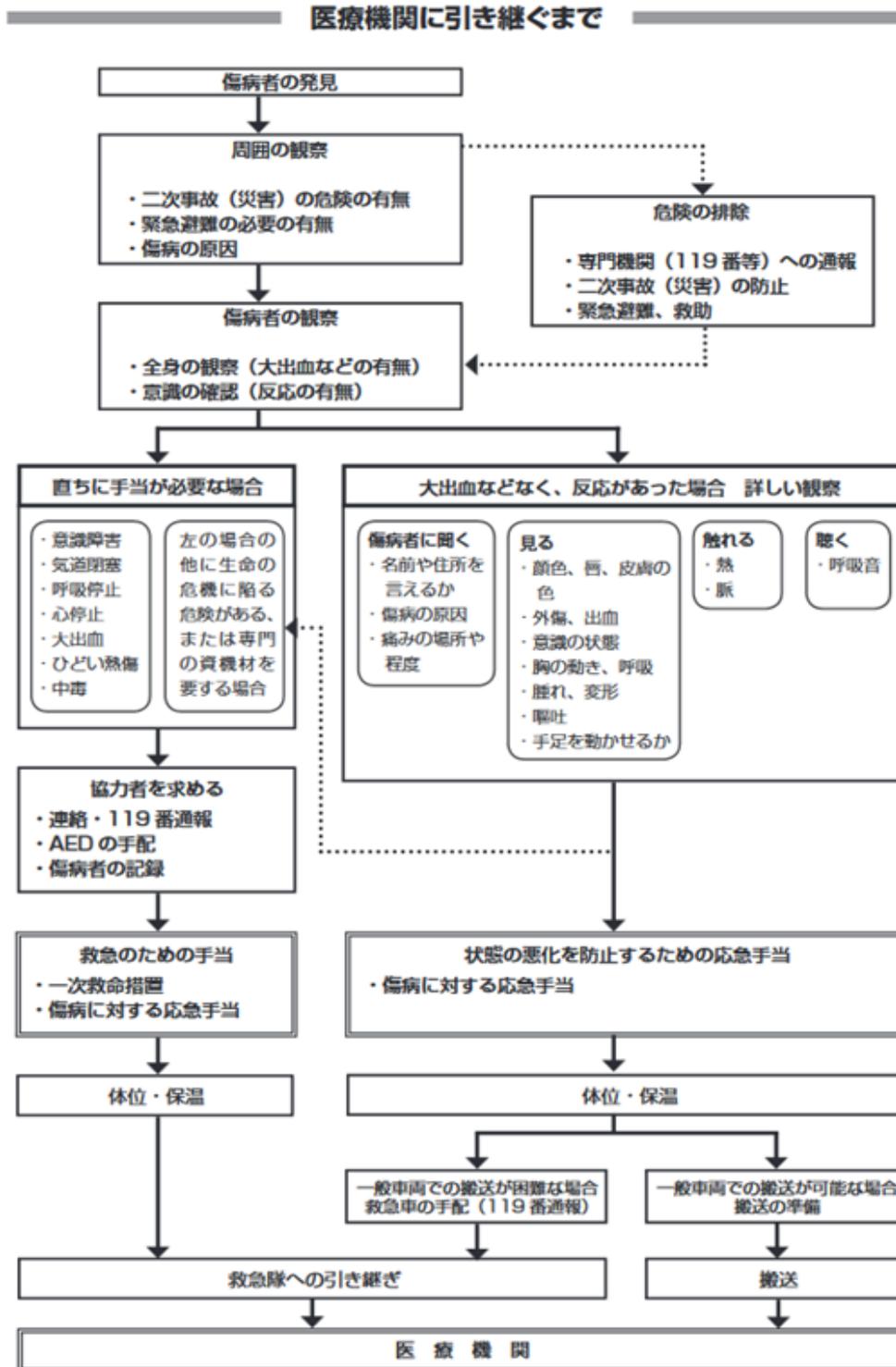
<キャンセルポリシー>

本大会は、大地震などの自然災害や未知の感染症が発生した場合などに大会を中止する可能性がある。その場合、参加費は大会準備に要した諸経費を差し引いた額を返金する。

個人の都合によるキャンセルについて、一旦納入した参加費の払い戻しはしない。ただし、他の参加者の参加費に振り替える。

■危機管理体制：

<事故対策フロー案> (RCJ Re:Quest 安全・危機ハンドブックを参照し作成中)



17日～20日 全日 県北医療センター高萩協同病院 0293-23-1122

<感染症対策>

参加者・スタッフ共にインフルエンザ・o-157・ノロウイルス、新型コロナウイルスの感染防止のため、大会1カ月前より基本的な予防策（手洗いやうがいなど）を励行し、参加日1週間前から参加当日までの検温記録の報告を実施し、平熱であること、倦怠感や腹痛を伴う下痢、嘔気、嘔吐の症状が無いことを確認の上参集する。特に罹患後に重篤になる可能性がある基礎疾患のある者は、参加を認められないこともある。

大会開催中は、消毒用アルコールの常備など、感染症罹患防止対策を遵守するとともに、万が一体調不良を自覚した場合は、医療機関の判断により、善後策を講じる。

※新型コロナウイルスの感染拡大による大会中止判断について

新型コロナウイルスの感染が拡大を続けている、または相応の事態にある場合、全国移動及び集団宿泊を伴う本事業の中止を判断する必要がある。その場合、野営大会運営委員会とRCJ運営委員会での協議の上で判断し、日本連盟コミッショナーへ申し入れる。

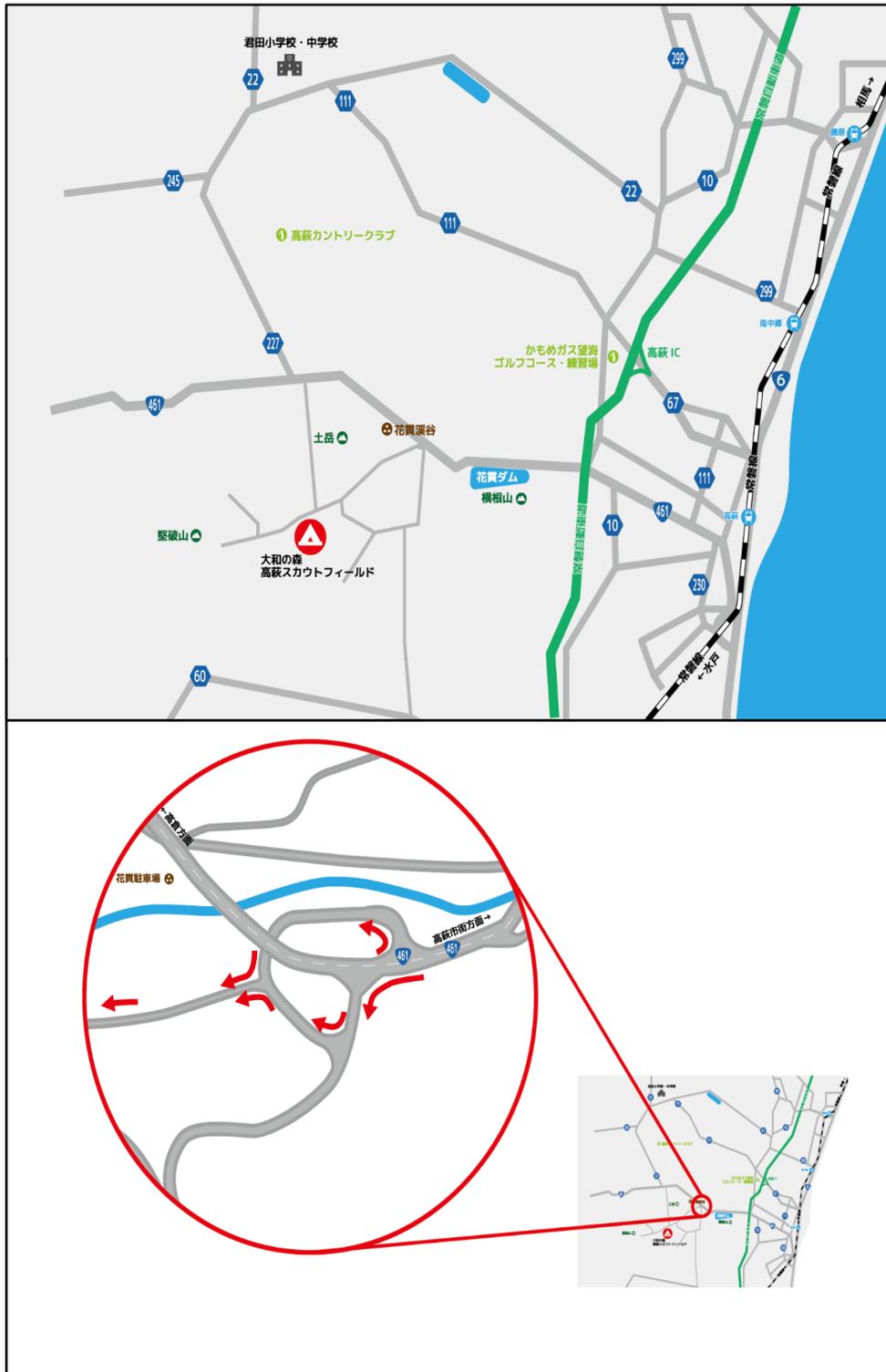
<熱中症対策>

暑さを避け、参加者・スタッフ共に熱気がこもらないような服装を心がける。また、こまめな水分・塩分補給を促す。帽子を着用し、強い日差しを避けるようにする。

(医療機関)

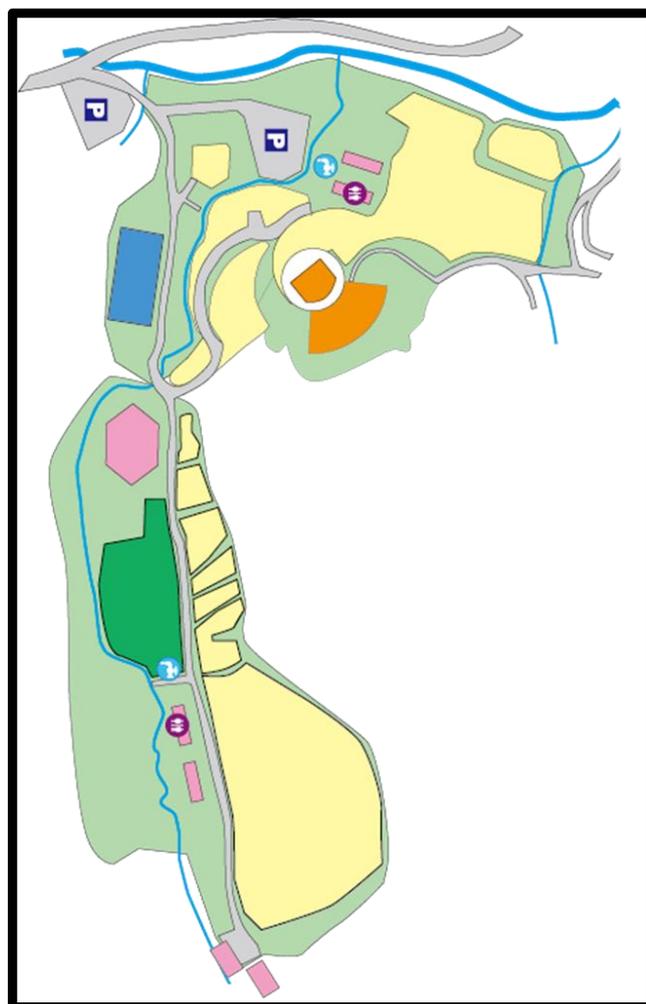
機関名	電話番号	受付時間
日立保健所	0294-22-4188	9時～17時（平日）
茨城県庁内	029-301-3200	8時30分～22時（土日・祝日も実施）

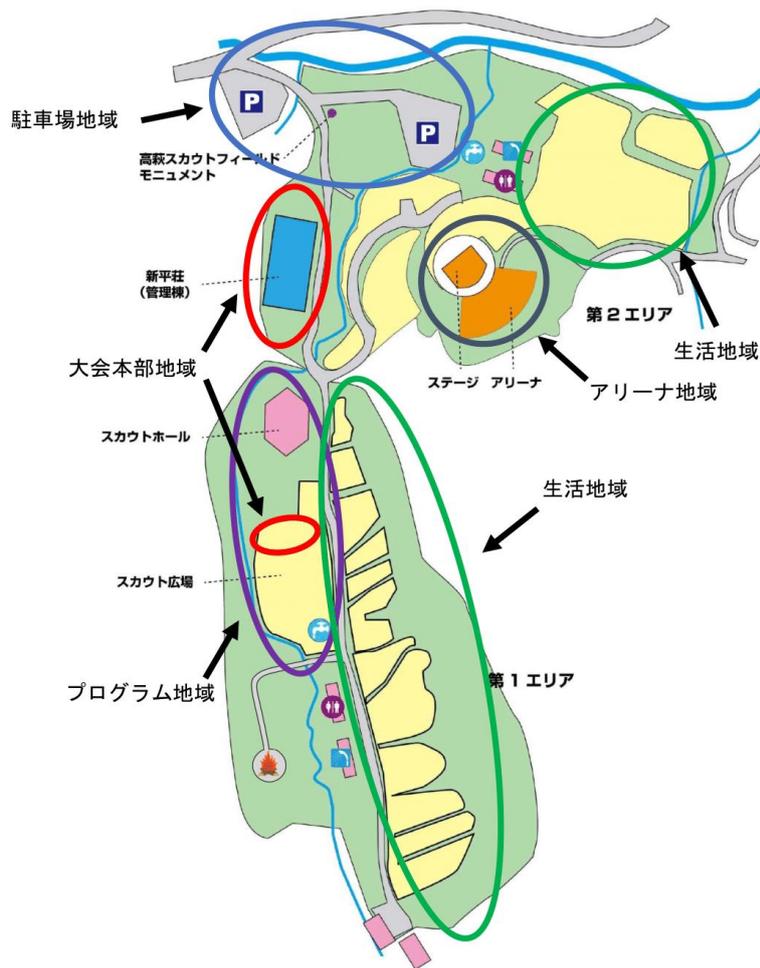
■会場図：
<アクセスマップ>



最寄り駅からのアクセス：JR常磐線「高萩」駅より車で約25分

最寄りICからのアクセス：常磐自動車道「高萩」ICより車で約20分





<会場の利用計画（案）>

1. 生活地域(キャンプサイト、トイレ、風呂)

参加者と大会運営スタッフの生活地域を区分して利用する。

2. アリーナ地域

全体行事を実施するアリーナ地域を設ける。

3. プログラム地域

テーマ別プログラムを実施するための活動場所を設ける。

4. 大会本部地域

大会運営スタッフの業務・運営に必要な事務所機能、会議所、倉庫を備えた大会本部地域を設ける。

5. 駐車地域

- ・ 場内駐車場：業務用車両、来賓のための駐車場を場内に設ける。
- ・ 場外駐車場：来訪者、参加者の留め置き車両のための駐車場を場外に設ける。

6. 服装

- ・開会式、閉会式、朝礼、宗教儀礼の服装は制服とし、正装上着の右胸ポケットに参加章を着用する。
- ・サイトやプログラムでの作業時は活動内容により活動着を着用する。

■参加者の生活：

	参加者	大会運営委員
宿泊	生活地域での野営生活とする。 地域に関わらず10名程度の生活班を編成する。	スタッフ生活地域での野営生活とする。
食事	期間中を通して自炊する。	適宜自炊する。

■救護衛生と安全：

健康管理	会場は夏場には高気温となる。熱中症予防や感染症対策等、夏季の活動に必要な事項について、大会運営委員会から参加者へ周知する。
応急手当	大会運営委員会は、あらかじめ参加スカウトの持病、アレルギー、特異体質、服用中の薬品等を把握するとともに、軽度な傷病に対して、衛生材料等を備える。 大会本部は、期間中の参加者の負傷や急病に備え、衛生材料と傷病者のための施設等を準備し、会場周辺の医療機関の協力を得て、傷病者の搬送と受け入れ態勢を整える。
安全管理	プログラム内容が決定後、想定されるリスクとハザードに関して大会運営委員会で把握し、安全指導に万全を期するとともに、事故発生時の対応に備える。 個人用救急セットの常備を徹底させる。 各プログラム開始時にプログラムとその安全について説明する。 各生活班に1名ずつ安全担当者をおき、1日に一度、また状況に応じて適宜安全担当者会議を行う。 常に大会本部に安全対策本部を設置し、運営委員長や運営委員長、成人の支援者が常駐する
保険	「そなえよつねに共済」と賠償責任保険で対応する。 ※青少年教育に関わる他団体については要検討

■大会に関する留意事項：

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟では、本大会の開催に向けて、次の留意事項を大会参加の有無に関わらず広く周知していきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

1. 環境に配慮した行動

本大会は、運営はもとより大会参加者についても、マイカップの持参、プラスチックごみの軽減、割り箸の不使用、樹木の保護に努めるなど、環境に配慮した行動を心がけ、環境への負荷を少なくした大会とする。

2. 個人情報と写真・映像の取り扱い

大会の参加申し込み等によって得た個人情報ならびに健康状態等は、参加者管理のための参加者名簿・参加者データに反映し、大会運営に使用する。また、参加のための情報提供ならびに運營業務によって、外部委託先に個人情報を提供することがある。

個人情報の保全・安全管理については、個人情報の保護に関する法律に基づき適切に取り扱い大会業務終了後には速やかに廃棄する。

大会記録用として撮影した画像、映像はすべて公益財団法人ボーイスカウト日本連盟に帰属することとする。参加者の写真や映像は、記録映像、ホームページ、報告書等の大会の記録に使用する他、スカウティング誌、各種パンフレット等のボーイスカウト運動普及・振興のために使用する場合がある。使用に際しては、できる限り個人の特定ができないように配慮する。

参加者の個人情報の収集・利用、写真・映像の使用については、参加申し込みをもって承諾を得たものとし、見学者や協力者等もこれに準ずる。

3. 関係者への連絡

開催地の自治体、協力機関および周辺の住民に対して、大会に関する連絡を行う場合は、必ず日本連盟事務局を経由しなければならない。

4. シンボルマーク・商標の取り扱い

本大会のシンボルマークや日本連盟の商標を付した製品を製作、販売する場合は、「スカウト章（世界スカウト章を含む）の取り扱いに関する取り決め」（日本連盟規程集）に基づき行うこととする。

以上

